

# 研究プロジェクトD

## 統合アセスメントの推進に関する研究

### 1. 背景

団塊の世代が90代に入る2040年に向けて、85歳以上高齢者（以下、超高齢者）が急増し、総人口の約1割に達すると見込まれている。超高齢者は、①複数の疾患や症状を有する、②日常生活活動（ADL）や手段的ADL（IADL）に課題を有する者が多い、③入院や死亡のリスクが高いなどの特徴を有する。さらに、日常生活を送る上での様々な支援を必要とする者も多い。医療、介護、生活支援に対して包括的なニーズを有する超高齢者の増加に対応するため、現在、地域包括ケアや地方づくりの推進が重要な政策課題となっている。

多領域に課題を有する要支援・要介護高齢者の生活機能の維持・向上を図ることを目的に、介護保険制度ではケアマネジメントの仕組みが導入された。効果的なケアマネジメントを展開するためには、全体計画を策定するケアマネジャーと、個別援助計画を策定する個々の事業所の協働が必須となるため、個別援助計画の質向上に向けた対策も現在進められている。このように、個々の利用者のマネジメントに関係するすべての職種に対し、「マネジメント力の機能強化」が求められている。

### 2. 目的

多職種のアセスメントの視点の統合方法の検討、ならびに研修カリキュラムの試行・評価を通じて、医療・介護関係職種のマネジメント力の強化を図ることを目的とする。

### 3. 概要

マネジメントプロセスは、インテーク（本人・家族の意向確認）～アセスメント～課題抽出・整理～要因分析～ケアプラン原案作成～関係者間での共有（サービス担当者会議）～対策の検討・共有～サービス提供～モニタリング～計画見直しなどで構成されるが、適切な対策が実行されるためには、課題抽出のために行われるアセスメントの質が重要となる。介護保険では国際生活機能分類（ICF）の概念が導入され、生活機能3要素（心身機能／活動／参加）と生活機能に影響を及ぼす3要素（個人因子／環境因子／健康状態）の6要素を総合的にアセスメントし、課題を適切に抽出する必要があるが、①ケアマネジャーの約8割は福祉系出身者であり、特に医療面のアセスメントが弱い、②医療・介護専門職もそれぞれ得意領域、関心領域があり、自身の専門分野に関係する領域を中心にアセスメントしやすいなどの課題がある。

そこで、本研究では、各職種が得意とするアセスメント力を統合し、利用者本人の生活機能とその影響要因を総合的に捉える力を高めるための手法を検討・開発することを目的とする。

これら目的を達成するためには、①各専門職のアセスメントの統合に関する検討、②テキスト作成、③研修カリキュラムの検討と試行及び評価などが必要となる。そこで、初年度は、主たる疾患別にアセスメントすべき項目の検討と整理、及びテキスト作成を行う。また、コミュニティネットワークかわごえと協働しながら、研修の試行を行う。

最終年度は、引き続きテキスト作成を行うとともに、コミュニティネットワークかわごえでの研修の評価、大学主催で行う研修の試行と評価を行い、研究終了後の継続的な研修体系を完成させる。

### 4. 実施

- 1) 各職種のアセスメントの統合に関する検討を行い、利用者の生活機能と影響要因を総合的に捉えるための方法を検討し、全体像を図式化（研修テキストで活用）
- 2) 主たる疾患別にアセスメントすべき項目の検討（・パーキンソン病・脳卒中・肺炎・高次脳機能障害・糖尿病）
- 3) 教材開発（研修テキスト作成、ビデオ教材の制作）
- 4) 研修カリキュラムの検討

#### 研修内容

対象者：埼玉県内のケアマネジャー、各回50～60名程度

スケジュール：2019年秋頃より全5回開催予定（総論と疾患毎の名論）

内容・方法：

- ① 講義（統合アセスメントテキストとビデオを使用）
- ② 演習（個人ワーク、グループワーク、発表、解説）
- ③ 研修参加者へのアンケート調査と評価（効果測定）
- ④ 継続的なマネジメント強化方策の検討

## 5. 研究体制

- 1) 研究リーダー：川越雅弘（保健医療福祉学研究科）
- 2) メンバー（学内）：田口孝行（理学療法学科）、臼倉京子（作業療法学科）、柴山志穂美（看護学科）、丸山優（看護学科）、河合綾香（研究開発センター）、堀内まゆみ（研究開発センター）
- 3) メンバー（学外）
  - ・伴正海（横浜市立大学・医師）
  - ・柴崎智美（埼玉医科大学、准教授）
  - ・金田光平（埼玉医科大学、医師）
  - ・細谷 治（城西大学薬学部、准教授）
  - ・阿久津勝則（㈱イホーディングス・薬剤師）
  - ・井上まや（管理栄養士、つくば栄養医療調理製菓専門学校）
  - ・勝木祐二（日本工業大学生活環境デザイン学科、准教授）
  - ・野口祐子（日本工業大学生活環境デザイン学科、教授）
  - ・阿部佳子（医師、医療法人社団やまと 日吉慶友クリニック）
  - ・磯野祐子（看護師、地域まるごとケアステーション川崎）
  - ・野上めぐみ（越谷市医療と介護連携窓口・看護師・ケアマネ）
  - ・神原舞子（理学療法士、株式会社ピュア・ハート訪問看護ステーション・青い空）
  - ・竹澤直城（とちぎケアセンター・PT）
  - ・茂木有希子（㈱ハート&アート・OT）
  - ・横山誠治（上尾中央医科G・OT）
  - ・山崎勇太（らいおんハート整形外科・ST）
  - ・白島智子（㈱トータル・トナリ・主任ケアマネ）
  - ・佐々木千賀子（にじの里居宅介護支援センター・主任ケアマネ）
  - ・村上祐順（財利ジグザグ理事長）
  - ・菊地裕美（一心館・PT）
  - ・染谷和久（霞ヶ関南病院・PT）
  - ・コミュニティネットワークかわごえ関係者（川越地域包括ケア推進協議会）